

ジェシカの07 メス・栗毛 2007年4月16日生

全40口 ●1口30万円 (総額1,200万円)

生産 ノーザンファーム 繋養 ノーザンファームYearling



キングカメハメハ 鹿 2001	キングマンボ Kingmambo 鹿 1990	Mr. Prospector	Raise a Native
		Miesque	Gold Digger
	*マンファス Manfath 黒鹿 1991	*ラストタイクーン	Nureyev
		Pilot Bird	Pasadoble
ジェシカ 栗 1999	*トニービン Tony Bin 鹿 1983	*カンパラ	*トライマイベスト
		Severn Bridge	Mill Princess
	セシルカット 栗 1992	*サンデーサイレンス	Blakeney
		ダイナカール	The Dancer
			Kalamoun
			State Pension
		Hornbeam	
		Priddy Fair	
		Halo	
		Wishing Well	
		*ノーザンテースト	
		シャダイフェザー(8)	

ポイント

POINT

現時点では筋肉量不足で華奢な印象は否めず、この牝系としては破格といえる募集価格となりました。しかし馬体をよく眺めると、四肢・椎骨の長さが十分で組みあがりのバランスは良好であることが分かり、各部に筋肉を被せて将来の見当をつけるとなかなかの好馬体が浮かび上がってきます。成馬時には胸囲の出てくる母系であり、母父トニービンの成長力と相まって秋口には逞しい姿を見せてくれるでしょう。放牧地で見せる素軽い動きは柔らかい各関節やバネの塊のような質の高い筋腱の成せる業であり、高い心肺機能や落ち着き払った気性を考慮に入れると、真価は芝の中距離で発揮されることでしょう。